

大学院入学試験問題
(一般入試・社会入試)

問題種別 専門試験

試験科目 日文傳文學 科目

以下の問1と問2の両方に答えてください。解答用紙のスペースが足りない場合は、裏に書いてもかまいません。

問1

以下の(1)～(3)のうち、2つを選んで、それぞれ10～15行の範囲で、日本語または英語で解答してください。例に挙げる作品や理論、事例はどこの国・地域のものでも構いません。

(1) 映画理論の目的はどのような点にあるだろうか。任意の理論を1つ紹介した上で、具体的に自らの見解を記述してください。

(2) 近年の映画史研究では、近現代史における移民・移住 (immigration / migration) を考慮することの重要性が認められている。移民・移住の視座は、具体的に映画史のどの局面を説明するのに有効か、自らの見解を記述してください。

(3) 映画や映像作品の視覚的快楽はどのように説明されるべきだろうか。この問いに関する自らの考えを、具体的な作品を例に挙げながら記述してください。

人文学専攻

分野・専門

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

問題種別 専門試験
試験科目 日文像学 科目

問2

次の英文は、Rosi Braidotti, *The Posthuman* (Cambridge, UK: Polity Press, 2013), pp.1-3からの抜粋です。これを読んで続く問い合わせに日本語または英語で答えてください。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門

試験科目 映像学 科目

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

問い合わせ

- (1) 下線部①について、著者は何を問題にしているでしょうか。文脈を踏まえて、わかりやすく説明してください。
- (2) 下線部②について、ポストヒューマンの条件は、人間というアイデンティティに対してどのような問題をもたらしていると著者は考えているでしょうか。現代科学に関する具体例を一つ以上示して、推測できるところを説明してください。
- (3) 下線部③と④について、主流文化と学術文化の議論では、ポストヒューマン的状況について、どのような違いがあると著者は考えているでしょうか。わかりやすく説明してください。
- (4) 下線部⑤のシモン・ド・ボーヴォワールの言葉を著者はどのように評価しているでしょうか。文脈を踏まえて、わかりやすく説明してください。

【解答にあたっての注意】

- ◆ 専門試験は、次の 2つからなる。
 - (1) 日本文化学に関する文献解説
問 1 (日本近現代文化・文学) 問 2 (表象文化)
 - (2) 日本文化学に関する論述問題
問 1 (日本近現代文化・文学) 問 2 (表象文化)
- ◆ 「文献解説」の問 1～問 2より、自身の研究分野に最も近い領域の問1つを選んで解答すること。
- ◆ 「論述問題」の問 1～問 2より、自身の研究分野に最も近い領域の問1つを選んで解答すること。
- ◆ 「文献解説」と「論述問題」は、同じ領域の問題を選択すること。たとえば「文献解説」で(表象文化)を選んだ場合には、「論述問題」でも(表象文化)を選ばなければならない。
- ◆ 解答は「文献解説」「論述問題」に分け、それぞれの答案用紙を用いること。解答スペースが足りない場合は、答案用紙の裏に記述してもよい。

人文学 専攻

分野・専門 日本文化学

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

問題種別 専門試験
日本文化学に関する
試験科目 文献解説 科目

問1（日本近現代文化・文学）

次の文章は、川村湊『異郷の昭和文学』(1990年) の一部である。次の[1][2]について答えなさい。

[1] この文章の趣意を5行程度で要約しなさい。

[2] 以下からキーワードを一つ以上選択し、この文章を批評しなさい。首尾一貫した論述を行うこと。

国境 記憶 持続 民族 橫断

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

人文学 壬政

分野・専門 日本文化学

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

問題種別 専門試験
日本文化学に関する
試験科目 文献解説 科目

問2(表象文化)

次の詩を評釈しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

人文学 専攻

分野・専門 日本文化学

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

問題種別 専門試験
日本文化学に関する
試験科目 論述問題 科目

問1 (日本近現代文化・文学)

〔1〕社会運動にとって、文化実践（小説や映画やアートの創作・製作・発表などによる）はどのような意味を持つと考えられるか。具体例をあげ、論じなさい。分量は、10行程度とする。

〔2〕次に掲げた事項についてそれぞれ知るところを述べなさい。解答する事項の記号を各々必ず記すこと。

- a. 野上弥生子
- b. リーピ英雄
- c. 大衆文学
- d. 表現の自由

問2 (表象文化)

日本の文芸や芸能における「祖国」あるいは「母国」の表象について具体例をあげつつ論じなさい。

人文学専攻
分野・専門 文化動態学

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

問題種別 専門試験
試験科目 科目

次の4問の中から、自分の研究計画に関連の深い2問を選んで解答しなさい。
解答は下記の「解答上の注意」に基づいて書きなさい。

解答上の注意

- ① 解答は1問につき答案用紙1枚以内で書きなさい。
- ② 答案用紙には受験番号および選択した問題番号を書きなさい。
- ③ 同一の答案用紙に複数の問題の解答を書いてはいけません。また答案用紙の裏面を使ってはいけません。

問題1 メディア・リテラシー(Media Literacy)とは何か。また、現代においてより一層メディア・リテラシーが必要とされる理由を、具体例と共に述べなさい。

問題2 近代化の過程で、「向都離村」の傾向が生じることがある。具体的な時代と地域をとりあげて、人びとの大規模な「向都離村」運動について概説し、そのことがもたらす社会変容を分析する学術的な視点を提示し、自分なりの分析を行いなさい。

問題3 「ホームランド homeland」という概念を説明しながら、ホームランドと個人の関係について、具体例をあげて、述べなさい。

問題4 「抵抗権 right of resistance」とは不当な国家権力の行使に対して抵抗しうる国民の権利であると定義されます。この「抵抗権」の根拠について、あなたの意見を述べなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

問題種別 専門試験

下記の問1～4のうち、2問を選択して、答案用紙に解答しなさい。なお、解答は下記の【解答上の注意】にもとづいて書きなさい。

【解答上の注意】

- ① 解答は、序論・本論・結論の構成で書き、序論には主題(Thesis Statement)を含めること。
- ② 解答は1問につき答案用紙1枚を使用すること。
- ③ 答案用紙には受験番号、選択した問題番号を書くこと。
- ④ スペースが足りない場合は、裏面を使用しても構わない。

問1 フェミニズムの主体として「女」がカテゴリー化されることの是非を、これまでのフェミニズム理論における本質主義と構築主義との間の論争を踏まえて論じなさい。

問2 レズビアン女性とゲイ男性が、自身のセクシュアリティを明らかにしないことを例える表現に、「クローゼットの中にいる」がある。そして、自らセクシュアル・アイデンティティを告白することを「カミング・アウト（クローゼットから出ること）」と言う。セジウィックの『クローゼットの認識論』や、それ以降のクィア理論を踏まえ、クローゼットとカミング・アウトに関する問題を挙げなさい。

問3 以下の新聞記事にある事象について、ジェンダーの視点から解説しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

(『日本経済新聞 電子版』2019年2月28日付)

問4 次の文は笙野頼子の小説「母の縮小」の一節である。①～③の下線部について、あなたの解釈をそれぞれ述べなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

(笙野頼子『母の発達』1999年 河出文庫 p. 11)